

# 漁況・海況予報事業—抄録—

松原 久・小田切譲二・青山 宝蔵・木村 大\*  
鈴木 史紀・黄金崎栄一\*\*・伊藤 欣吾

## 発 表 誌 名

平成5年度漁海況予報事業結果報告書（平成7年3月・青森県水産試験場）

## 抄 録

### I. 漁 況

平成5年度の特徴的な漁況は、平成4年度に引き続きスルメイカ・マサバ・ブリの好漁、マイワシの減少であった。

沿岸域におけるスルメイカ漁は各地とも前年を上回り、過去4年間平均と比べると、太平洋と津軽海峡の水揚げが特に多かった。

主として日本海の定置網で漁獲されるブリは増加傾向にあり、漁獲量は前年をやや上回る水準となった。

太平洋のまき網で漁獲されるマサバは前年を大幅に上回る水揚げであった。一方、資源減少が危惧されているマイワシは依然減少傾向が続いた。

### II. 海 況

1993年の青森県沿岸の海況について、日本海沿岸定線観測・太平洋沖合定線観測結果から求めた対馬暖流（日本海）・津軽暖流（太平洋）の流勢指標の平年との比較を以下に示す。

日本海及び太平洋の定線図を図1に、流勢指標の暖流幅、津軽暖流張り出し位置、水塊深度については、その模式図を図2および図3に示した。また、平年比較の度合いについては、章末「参考」に示した。

#### 1. 日本海（観測月3～7月、9月～11月、各1回）

##### ・最高水温（0・50・100m層）

定線内での各層の各月最高水温は、5月までは各層とも“やや高い”から“はなはだ高い”水温であったが、6月には0m・50mで“平年並”となり、7月には全層とも“平年並”となった。9月・10月は0m層が“やや低い”から“かなり低い”、50m層が“平年並”、100m層は“やや高い”と、表層に近いほど低め傾向であった。11月には全層とも“平年並”となった。

本年の定線内の各月最高水温は、9月・10月の表層が低めであった以外は、全期間全水深とも“平年並”から高め傾向の年であった。

##### ・暖流幅（舳作沖・十三沖）；100m層水温5℃離岸距離

舳作沖の暖流幅は、6月まで“はなはだ広い”、7月は“やや広い”、9月・10月は“平年並”11月は“かなり狭い”と徐々に狭めとなる傾向であった。

十三沖の暖流幅は、7月まで“かなり広い”あるいは“はなはだ広い”、9月は“平年並”、10月

は“やや狭め”11月は“平年並”と、舳作沖と同様、徐々に狭めとなる傾向であった。

・水塊深度；舳作線での水温7℃の最深度

舳作線での水塊深度は、7月・11月が“やや浅い”、10月が“平年並”であった他は、3月・4月・6月が“やや深い”、5月・9月が“かなり深い”と、深め傾向で推移した。

・舳作崎西方における対馬暖流北上流量

舳作崎西方における対馬暖流北上流量は、11月が“やや少ない”、7月が“平年並”であった他は、4月、6月、10月が“やや多い”3月、5月、9月が“かなり多い”と多め傾向で推移した。

## 2. 太平洋（観測月3月、6月、9月、11月）

・最高水温（0・50・100m層）

定線内での各層の各月最高水温は、3月が0m層から順に、“やや高い”、“かなり高い”、“かなり高い”だったが、6月には“平年並”、“やや高い”、“やや高い”、9月には“やや低い”、“平年並”、“平年並”と、全層的に“高め”から“平年並”へと徐々に推移し、11月には全層とも“平年並”となった。

・津軽暖流張り出し位置（尻屋崎線）；100m層水温5℃の位置

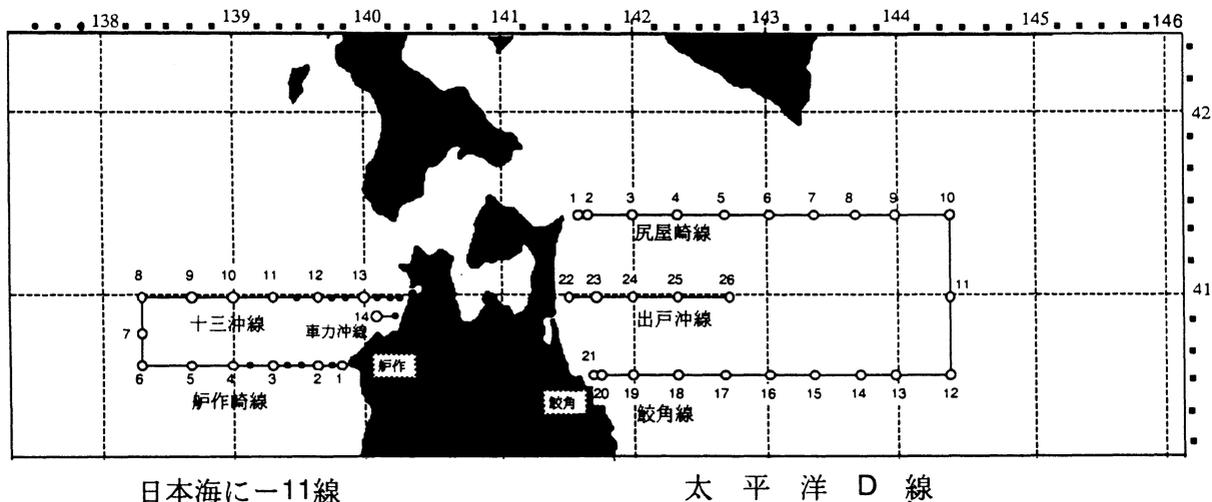
尻屋崎線における津軽暖流の張り出しは、3月には“はなはだ弱い”だったものの、6月には“やや強い”、9月・11月は“平年並”に推移した。

・水塊深度；尻屋崎線での7℃の最深度

尻屋崎線での水塊深度は、3月が“やや深い”、6月が“平年並”、9月・11月が“やや浅い”と、深めから浅めへと変遷した。

・尻屋崎東方における津軽暖流南下流量

尻屋崎東方における津軽暖流南下流量は、3月・6月が“はなはだ多い”だったものの、9月は“やや少ない”となり、11月には“平年並”となった。



日本海に-11線

太平洋D線

図1 太平洋および日本海の観測定線

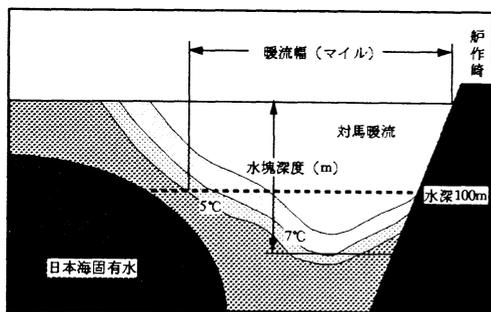


図2 戸作崎鉛直断面模式図

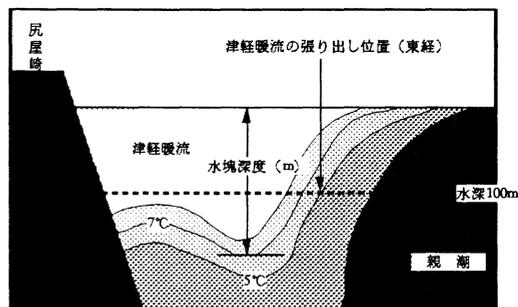


図3 尻屋崎鉛直断面模式図

参考 平年比較の度合（気象庁の海面水温偏差の階級区分を参考にした。）

表現	偏差比（標準偏差に対する場合）		
はなはだ高い	+200%以上		（およそ44年に1回の発生に相当）
かなり高い	+130%以上	+200%未満	（およそ14年に1回の発生に相当）
やや高い	+60%以上	+130%未満	（およそ6年に1回の発生に相当）
平年並	-60%以上	+60%未満	（およそ2年に1回の発生に相当）
やや低い	-130%以上	-60%未満	（およそ6年に1回の発生に相当）
かなり低い	-200%以上	-130%未満	（およそ14年に1回の発生に相当）
はなはだ低い		-200%未満	（およそ44年に1回の発生に相当）